

要 望 書

平成18年7月24日

北総線運賃問題対策協議会

【要旨】

千葉ニュータウンの唯一の鉄道として、北総線を利用している地域住民の生活安定、そして、千葉ニュータウン事業の促進を図るため、次の点について要望いたします。

1. 北総線の運賃を適正な水準まで引き下げるよう鉄道事業者に要請していただきたい。
1. 住民からの強い要望が寄せられております通学定期の割引率引上げにつきましては、特段のご配慮を願いたい。
1. 成田新高速鉄道の運賃につきましては、二重運賃構造にならないように、国及び鉄道事業者に要請していただきたい。
1. 千葉ニュータウンステップアップ2010研究会からの提言にもありますように、県も地元市村と連携を図りながら北総線の運賃問題解決について取り組んでいただきたい。

【内容】

千葉ニュータウンと都心を結ぶ唯一の公共交通機関である北総線は、通勤や通学、都心への買い物等に利用されるなど、沿線住民にとっては、日々の生活上なくてはならない重要な鉄道であります。

しかしながら、北総線の運賃水準は、JR線をはじめ、首都圏における他の民間鉄道と比較して概ね2倍から3倍を超える高い水準にあります。同鉄道を利用して通勤・通学している地元住民の家計の負担は大きく、特に通学者を持つ保護者からは通学定期の割引率引上げの強い要望が、各自治体に寄せられています。

このような状況のなか、2市2村においては、緊急的・暫定的な措置として、高運賃対策及び子育て支援を目的に財政出動をして、昨年4月から北総線の通学定期の割引率を60%から70%に引上

げた「割引通学定期乗車券」を北総鉄道株式会社で発売しております。

昨今の厳しい財政状況の中、やむを得ず財政出動までして実施した理由は、2市2村の今後のまちづくりを進めて行く上で、千葉ニュータウン事業の進展が重要なかぎを握っているからです。

また、2010年の開通をめざして、鋭意整備が進められております「成田新高速鉄道」につきましては、一日も早い完成を地元自治体としても願っているところです。それは、今後設定される運賃によっては、北総線の運賃についても見直しがされるのではないかと期待しているからです。

平成16年にステップアップ2010研究会から「北総線の運賃を低減するためには、千葉県、開発事業者、地元市村が一体となって取り組む必要がある。」と提言されているように、北総線の運賃値下げを実現するためには、2市2村だけでは困難な状態であり、県と連携して諸問題に取り組む必要があると考えております。

こうした実情をご賢察の上、北総線の運賃値下げ等につきまして、特段のご尽力、ご高配を賜りたくここにお願い申し上げます。

平成18年7月24日

千葉県知事 堂本暁子 様

北総線運賃問題対策協議会

会長 印西市長 山崎 山洋

北総線運賃問題対策協議会

団体名	職名	氏名	備考
印西市	市長 議長	山崎 山洋 川村 一幸	会長
白井市	市長 議長	中村 教彰 江田 健治	副会長
印旛村	村長 議長	佐藤 榮一 小川 勇	監事
本埜村	村長 議長	小川 利彦 大塚 輝男	監事